補助金実績報告時チェックシート

【申請段階：第3段階】

※提出書類等に間違いがないか等、各チェック項目を確認のうえ、下表「団体チェック欄」に○印を記載してください。

※記載いただいたチェックシートを基に書類の審査を行うことで、窓口での審査時間が短縮できます。

必ず提出書類と一緒に提出してください。

様式	チェック項目	団体 チェック欄	市 チェック欄
実績報告 (様式2)	申請者の住所、氏名は間違っていないか（申請書と同じ代表者か）		
	総事業費は、収支決算書の支出の部の総事業費の額（*b）と合っているか		
	修正液等で修正されていないか（金額の訂正は不可で、新たに書き直す必要がある。その他の箇所を修正する場合は、二重線で消す）		
報告書 (様式2-2)	申請段階は申請書と同じか		
	活動の実績が確認できる書類（実績報告書別紙や、日誌など）の添付はあるか		
	「2.成果」欄は、「住民主体で結成され、地域に介護予防に取り組める場を創出し、健康の維持増進を図る」など、 <u>介護予防に取り組んだ</u> という内容を記載してあるか		
	「3.事業内容（1）介護予防体操の名称」欄		
	①いきいき百歳体操か、それ以外の場合は介護予防を目的に自治体が作成した体操		
	②口腔体操		
	上記2つの体操の名称が記載してあるか		
	「3. 事業内容（2）活動内容」欄は、		
	①30分以上の体操		
	②週1回以上の開催		
	③地域に対し、誰でも気軽に受け入れ、協力して介護予防に取り組んだ		
	④生活習慣病予防の講話を受講することができた		
	・上記4つの記載があるか		
	・1)お口の健康、2)栄養・食事、3)認知症の理解、4)お薬について、5)高齢者の介護予防、6)地域の支え合いづくり 6つの分野のうち、2分野以上の講話について「受講できた」の記載があるか		
	場所及び時間は記載してあるか		
年間実績 報告書別紙	・開催日程（実績報告書別紙）は、週1回以上の活動になっているか ・参加人数、内容（体操の実施など）の記載はされているか ・生活習慣病予防の講話内容、講師名について記載があるか		

（裏面に続きます）

様式	チェック項目	団体 チェック欄	市 チェック欄	
決算書 (様式2-3)	収入では、補助金や会費など通帳の収入と合っているか（確認できるか）			
	支出では、通帳の支出と合っているか（確認できるか）			
	領収書は添付されているか			
	領収書について ①開催に伴う必要経費、器具購入費：決定通知日から最終活動日までの日付のもの ②自宅等でできる介護予防活動の普及啓発経費、実績報告書作成時に必要な経費：決定通知日から3月31日までの日付のもの			
	補助対象経費として認められるもの			
	開催に伴う必要経費の例：報償費（外部講師への謝金）、消耗品費（教材費など5万円未満の物品が対象。※介護予防活動で一回も使用しなかった時は対象外。飲食費やマスク購入費等個人に帰属するものも対象外。）、印刷費、保険料（スポーツ保険の類）、使用料（公民館使用料、冷暖房費） 器具購入費の例：今年度使用した器具の購入費（おもりなど5万円未満の物品が対象。※介護予防活動で一回も使用しなかった時は対象外） 自宅等でできる介護予防活動の普及啓発経費の例：自宅のできる体操のパンフレットのコピー代 実績報告書作成時に必要な経費の例：領収書のコピー代			
	送迎に係る経費 団体規約に定めた金額か、保険料は送迎支援用の保険か、金額を定めた団体規約の写しは添付されているか			
	講話に伴う実習に係る経費 ・調理実習の食材など。「実習に係る」ものが対象。実習を伴わない食べるだけの食材は対象外。 ・ 食材の場合、1分野につき1回分までが対象。			
	会員名簿	65歳以上の高齢者が5人以上いるか		
		会員総員の名簿が記載されているか		
名簿に介護予防に関するサポーターが1割以上または3名以上の記載があるか。				
決算書に送迎に係る経費の記載がある場合 送迎が必要な人欄に○の記載があるか。なぜ送迎が必要なのか余白に記載（例えば、膝痛で歩行が困難な方など。あくまで「介護予防活動」であるため自力で通うことが可能な方に対し過剰な支援とならないように）				